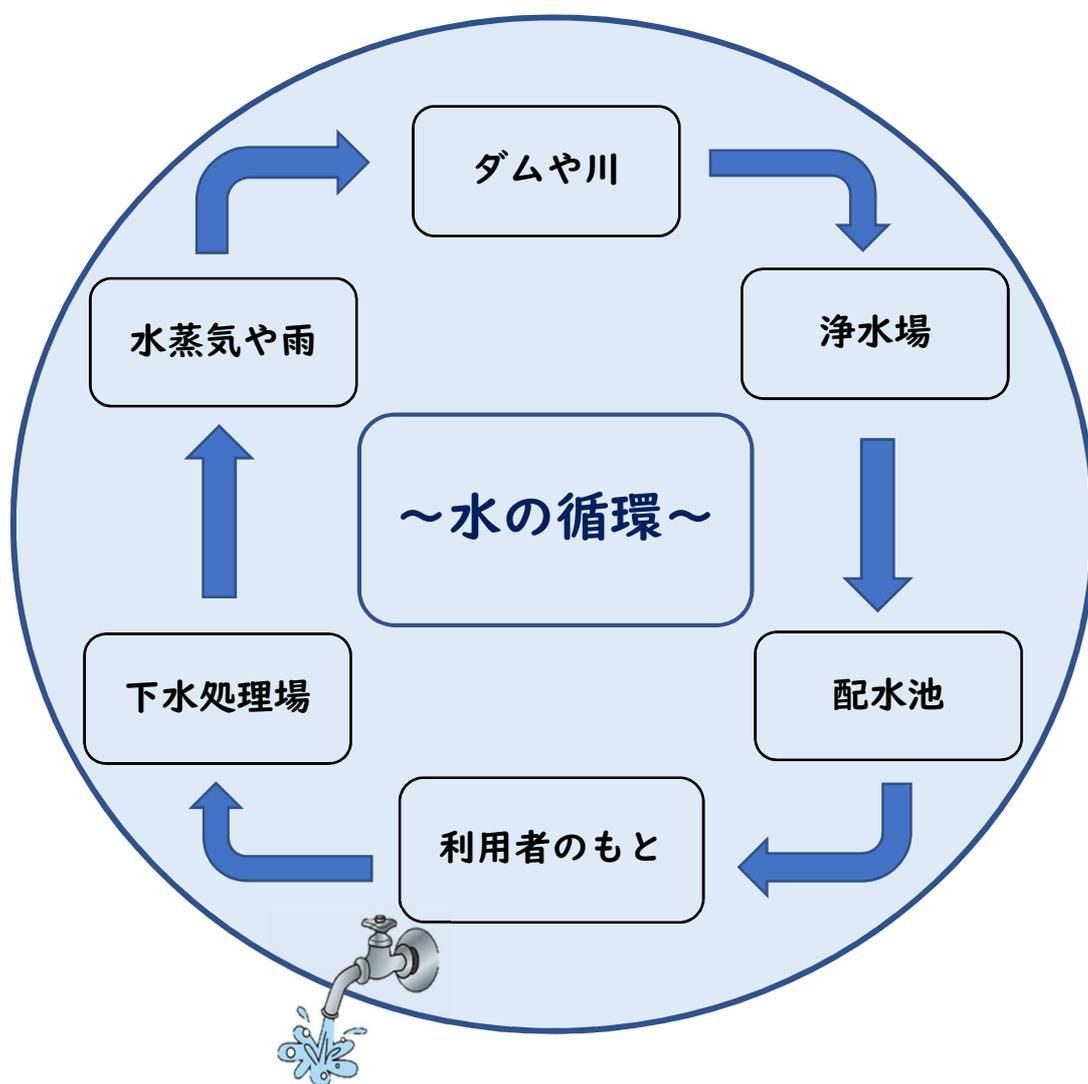


第13期沖縄市水道モニター会議（第1回） 活動報告書



令和6年8月23日開催

沖縄市上下水道局総務課企画係

第13期沖縄市水道モニター会議（第1回）活動報告書

【概要】

日付：令和6年8月23日（金）

時間：13：30～15：45

場所：沖縄市上下水道局 2F 小会議室

内容：委嘱状の交付・水道局の業務内容を知る

参加者：水道モニター5名、上下水道部長、総務課長、料金課長、工務課長、下水道課長
管理課長補佐、総務課主幹、企画係

日程：13：30～委嘱状の交付・部長あいさつ →13：40 モニター自己紹介

→13：50 水道事業の説明 →14：00 水道局各課の説明・質疑応答

→14：50 休憩 →15：00 のぞいてみよう蛇口の向こう側説明・質疑応答

→15：30 アンケート・意見交換 →15：40 事務連絡 →15：45 解散

【活動内容】

令和6年度から新たな水道モニターを迎え、第1回目の会議を開催した。水道モニターへの委嘱状交付から始まり、局長の代理として部長より水道モニターへ挨拶がおくられた。

今期は第13期目となり、令和8年3月31日までの任期の期間中、2年にまたがって計6回の会議を予定している。今回1回目は、水道モニターの役割と基礎的な知識を学ぶことをねらいとして、水道事業の概要と各課より業務内容の説明を行った。水道事業の概要説明では、水道事業の歴史を振り返り現在に至るまでの経緯等を学んだ。各課業務内容の説明では、下水道課を含む各課長それぞれが課で担当する業務内容について係ごとに説明し、安心・安全な水道水を供給する体制を学んだ。各モニターからは、様々な視点における意見や質問等があり、有意義な時間となった。

休憩をはさみ、後半は『のぞいてみよう蛇口の向こう側』をテーマにパワーポイントを用いて説明を行った。上下水道関連施設にも興味をもていただくことができ、現地での見学を希望する意見もあったため今後企画していく中で普段見ることのできない施設見学等も検討していく。

・水道モニター会議での質疑応答やアンケート回答は以下にまとめる。

【質疑応答内容（抜粋）】

（水道事業・業務内容等の説明における質疑応答）

質問①）水資源有効利用表彰の内容とは？

回答①）家庭の井戸水や雨水の有効利用の表彰

質問②）沖縄市の水道でPFASについて何か対応策はとっていますか？

回答②）市において、年2回検査を行っております。厚生労働省の暫定目標値である50mg/L

を下回る結果が出ております。

質問③) 沖縄ではタンクに貯水して水を利用している方もいますが、衛生面では問題ないでしょうか？

回答③) 直結と異なり、水を利用しない期間が長くなると塩素が抜けやすくなることが考えられます。

(のぞいてみよう蛇口の向こう側の説明における質疑応答)

質問①) 下水道管にて下水処理場まで流すときに圧力をかける必要がありますか？

回答①) 基本的には、自然勾配で流しますが、高低差を取ることが難しい地域では、ポンプを使用して増圧しているところもあります。

質問②) ダム・浄水場・配水池の管理者はどのように分けられていますか？

回答②) 浄水場は県、配水池以降は沖縄市ですが、厳密には分岐点があり、そこで区分けされています。

質問③) 沖縄でもダムで発電はしていますか？

回答③) 福地ダムにて放流水を利用した水力発電を行っているようです。発電した電力をダム管理用として利用しているほか、余剰分を電力会社へ売電し活用されているとのことです。(沖縄県 HP より)

【モニターアンケート回答 (抜粋)】

●今回の水道モニター会議を通して学んだこと・感じたこと等

- ・改めて上水道、下水道のサービスが有難いことやたくさんのサービスが受けられていると思った。
- ・水道の歴史を学べた。大切に使用したいと改めて感じた。

●今後水道モニター会議で行いたいことや見学したい場所

- ・北谷浄水場、海水淡水化施設
- ・上水道工事現場
- ・取水施設

など



▲委嘱状交付



▲水道事業説明



▲各課業務内容説明



▲のぞいてみよう蛇口の向こう側